

口の中でふわーっととけるチョコレート。これにヒントを得て坐薬は開発

されました。今でも、カカオ脂を基剤にした坐薬が多くあります。なるほどという話ですが、よくぞ坐薬をヒントにチョコレートが開発されなかったものだと感謝しています。

ところでどうして坐薬と言うのでし

ょうか。座薬とも書かれますが、前者の方が正しいとされています。坐は、人と人が土の上で向かい合っている様子を表し、座は、その場所つまり家を表すそうです。動詞と名詞だから、ザヤ

クは坐薬が正しいようですが、なんだかしくりしません。僕の気持ちとしては、ザヤクは家の中で入れてほしいと思いますし、人と向かい合って入れるのもチョットという気がします。

まじめな話もおきましょう。坐薬は肛門



クスリを考える20

に挿入すると思っている方が、座って飲むものだと思っている方より圧倒的に多いのですが、どちらも間違いで、坐薬は、肛門から直腸へ挿入するものです。

肛門から2～3センチは奥へ挿入してください。

入口付近に留めてしまうと、そこは発生学上、皮膚と同じ性質で、消化管である直腸で効いたり吸収されるように設計された坐薬の効き目が得にくくなります。

いろんな効き目の坐薬があって、成分によって基剤(成分以外の坐薬本体の部分)も様々です。目的に合った坐薬を安全かつ効果的に使用する方法をかかりつけ薬剤師にお尋ねください。

坐薬について あれこれ

(社)伊賀薬剤師会
☎0595(26)7270

<http://www.igayaku.or.jp>

詳しくはホームページをご覧ください。